

事業者向け 放課後等デイサービス木子里テラス自己評価表

(2020年3月実施)

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員10名に対して、指導訓練室等のスペースが31.88㎡あり、基準を満たしている。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			有資格者を含む常時6～8人の職員を配置しており、十分に基準を満たしている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		一戸建を活用しているため基本的にはバリアフリーではないが、階段手すりや滑り止め、また突起物の除去や窓の施錠方法等、危険と思われる箇所への対応を施している。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			非常勤を含めた職員で日々のふり返りをし、支援の目的や手立てを常に共有し、次回の支援に取り入れるよう計画に取り入れている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			外部評価アンケートを実施し、職員間で分析し、課題を共有後、改善に向けた話し合いをしている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年4月に前年度の自己評価結果をホームページ上で公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			非常勤を含めた職員全体に対して、法人内外の研修に積極的に参加できる環境を整えている。研修内容も多岐にわたりバランスよく体系化している。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			独自のアセスメントシートを活用し、半年ごとに個別支援計画を作成し、保護者面談を行っている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			検査結果等の情報を保護者から提出してもらっている。木子里グループ独自の共通アセスメントシートを活用している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			常に職員間で話し合いを行って立案・計画をしている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児童が意欲的に活動に参加できるよう、季節や節句に関わる活動、身体を動かす活動、また新しいことに挑戦できる場合も含め心身両面を考慮し計画している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期学校休業中は、遠方へのお出かけや、買物、公共交通機関の利用等、活動に幅を持たせて計画している。その際は、参加者一人ひとりに目標設定をして以後の計画に反映できるようにしている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動とグループ活動を計画するとともに、一人一人の課題に寄り添えるように配慮している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			利用児童に合わせた日々の計画を作成し、常勤、非常勤を含め打ち合わせ時に支援の行い方を確認している。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			個人記録ノートを記入し、業務終了後に振り返りを行っている。また、振り返りや日々の意見交換を考慮して、次回利用時の計画に反映させている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日、個人ノートを記入し、保育の打ち合わせ時や支援計画の作成時に活用している。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月ごとに、児童の成長や新たな課題について、職員間で共有検討し、内容の見直しを行っている。保護者との面談も丁寧に行っている。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	19	○			ガイドラインの基本的姿勢及び基本活動を踏まえた支援ができるように、施設内外での個人及びグループ活動を計画している。
関係機関や保護者との連携	20		○		今年度の実績はないが、必要に応じて管理者や児童発達支援管理者が対応する。
	21	○			常に連携を働きかけ、情報共有や連絡調整に努めている。
	22		○		直接の連携はないが、保護者を通しての情報共有に努めている。
	23		○		木子里グループ及び相談事業所と連携し、情報を共有した。
	24		○		保護者等との情報交換を行っているが、必要かつ事業所からの提供が適切なことであれば検討する。
	25	○			強度行動障害支援者養成研修等、放課後等デイサービスの職員に求められる専門性向上のために必要な研修を受講している
	26		○		現在はない。児童館を利用した活動を行っている。交流等については、保護者等との考えも踏まえつつ、検討したい。
	27	○			所沢市が主催する障害児通所支援事業所連絡会に参加している
	28	○			連絡帳や送迎時を利用して、家庭での様子、施設での様子を共有している。
	29		○		日々の様子を共有をする中で、保護者の悩みや課題に寄り添うよう努力している。
保護者への説明責任等	30	○			契約時にすべて説明し、事業所の活動方針も配布している。
	31	○			連絡帳などで状況を把握するとともに、必要に応じ直接話を聞く時間を設けるようにしている。
	32			○	現在はおこなっていない。外部評価も含め検討したい。
	33	○			苦情が発生した時には、職員間で原因と改善策を共有し、迅速に対応している。
	34	○			毎月『KIKKORI通信』を発行し、翌月の予定のお知らせと前月の保育報告を行っている。中高生プログラムなどの特別活動については、その都度実施の目的や行動予定の詳細をお知らせしている。実施後はホームページでも活動概要を発信している。
	35	○			データや個人情報は鍵付キャビネットに保管している。
	36	○			先入観や思い込みではなく、子どもの行動の前後の様子から思いを読み取るように努力している。
	37			○	現在は実施していない。今後において検討したい。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時の対応については保護者へ案内し、ホームページでも公開している。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			災害用糧食を準備するとともに、3ヶ月に1回のペースで避難訓練を実施した。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書等については保護者を介して情報を入手し、スタッフ全員に周知徹底している。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			日々の保育記録に記載するようにしている。他施設の情報についても管理者会議・常勤会議の場で共有している。また、Web、県や市の情報を事業所内で共有している。